



## ごあいさつ

院長 貝嶋 光信

日本国中コロナコロナと喧騒が続く中、いよいよ冬の季節を迎えようとしています。寒くなると増えてくるのがインフルエンザですよね。新型コロナウイルス感染症の第3波の襲来との情報が流れる中、インフルエンザとの同時流行が懸念されています。



まずは予防第一。手洗いとマスクの着用、外出先では3密を避けて社会的距離をとること、防寒対策をしっかりと鼻風邪寒冒にかからぬようすること、そして栄養と睡眠をしっかりと取ることも大切です。

高熱が出ればインフルエンザの可能性ががあります。インフルエンザは治療薬がありますので、的確な診断と治療を受けましょう。

やっかいなのはやはり新型コロナウイルス感染症です。重症化すれば当然入院治療が必要ですが、軽症者には治療薬はありません。（発熱や呼吸器症状に対する対症療法はありますが）そして万一罹患したら・・・2週間の自宅療養、周りに感染を拡散させないような配慮が必要になります。

以上を心にとどめて頂き、この冬を乗り切りましょう。春にはワクチンが完成するとの情報もあります。（10月28日記）



## 看護部 4階病棟紹介

### <地域包括ケア病棟とは>

急性期治療を終了し、すぐに在宅や施設へ退院し生活するには不安のある患者さんや、在宅・施設療養中から緊急入院した患者さんに対して、在宅復帰に向けて診療、看護、リハビリを行うことを目的とした病床です。在宅、施設復帰をスムーズに行うために、主治医、看護師、専従リハビリスタッフ、在宅復帰支援担当者(医療相談員)等が協力してリハビリや在宅復帰支援相談・準備を行ってまいります。入院期間は60日を限度としております。患者さんの状態やサービスが整い次第退院となります。

### <4階病棟スタッフ紹介>

対象：外科、整形外科、脳神経外科、泌尿器科、循環器内科、消化器内科、糖尿病内科

内科系責任者：森合 哲也(糖尿病内科医)

外科系責任者：福田 博(脳神経外科医)

看護師 25名、看護助手7名、医事課クラーク、  
担当薬剤師、医療ソーシャルワーカー、担当リハビリ、  
担当栄養士と共に支援しています。



### <4階病棟の取り組み>

患者さんが退院後の生活を安全安楽に過ごしていくために、ご家族や担当のケアマネージャーを含め、退院後の生活がイメージできるよう話し合う場を設けています。患者さんやご家族にとって何が最善であるかを整理し、使用するサービスの最終調整を行っています。

また、退院前には自宅や施設での生活でどういふところを改善すべきかを見極めるため、ご自宅へ患者さんと共にリハビリ担当者やケースワーカーが同行する家屋調査も行っています。退院後、ご家族が経管栄養の管理や吸引、オムツ交換などを行う場合には、病棟で作成した専用のパンフレットを用い、その患者さんに合った援助ができるよう指導もおこなっています。



## 病院敷地内禁煙のお知らせ



当院の**病院建物内および駐車場、通路を含む敷地内での喫煙は禁止**となっております。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

